

日刊エレクトロニクス

### 「先端プロジェクト実験棟」が完成

九大

【福岡】九州大学伊都キャンパス（福岡市西区）に「先端プロジェクト実験棟」が完成、9日に開所式を行った。高原淳九大教授を中心に、関節の潤滑や二枚貝の接合部分などに代表される高機能ソフト界面の材料設計から構造・特性解析までの基礎研究を行う。

同プロジェクトは2008年度、科学技術振興機構（JST）の戦略的創造研究推進事業に選ばれた。異種材料や異種物質間の高機能接合界面をつくる革新的ナノ界面技術の確立と応用を目指す。

「硬X線ビームライン」と「クリーン実験棟」

### 13日完成披露

【福岡】九州大学が佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター（佐賀県鳥栖市）に2008年度から建設していた、「硬X線ビームライン」と「クリーン実験ステーション」が完成した。13日15時から同センターで完成披露式を開く。同ビームラインは09年末をめぐりに本格稼働予定で、現

在調整運転中。

同ビームラインは2台の集光ミラーで、X線分光吸収（XAFS）やX線小角散乱（SAXS）を効果的に計測することができ、一方同ステーションは、ナノスケール（ナノ）は10億分の1で材料加工や観察をする設備を整備した。医療や環境用分子センサー電子デバイスの研究開発などに成果が期待できるといふ。

当日は九大がこれらの設備を運営するのと同光研究センターに新たに設置した学内共同教育研究施設「九州大学シンクロトロン光利用研究センター」の開所式も行う。

## 広がるMOT教育

### 専門職大学院の今

九州大学ビジネス・セントに関する科目群「クール（QBS）」は高度専門職業人として新しい産業社会のフロンティアを切り開く先端的な経営能力を持つ人材を養成することを目的に2003年に設立された。この目的を達成するため、本校のカリキュラムは、経営専門職育成のための「マネジメント関連基礎科目群」（MBAベースリクス）を土台として、「ビジネスの戦略マネジメントに関する科目群」と「産業・技術のマネジメ

## 先端的経営力養う

### 「アジア」MOT重視の教課

九州大学は歴史的にも地理的にも日本にとってアジアの玄関口（ポータル）であり、QBSはアジア屈指のビジネス教育の拠点として「アジア」関連の科目を充実させ、中国やタイの提携大学との交流を積極的に行っている。

九州がアジアの発展の先導役を果たしていく上

で鍵となるのは産業技術である。九大にはさまざまな技術の集積があるが、ビジネス・スクールが重視するのは、技術の事業性にかかわる教育、すなわち「MOT」で、総合大学をバックに持つ強みを生かしシーズとした。これらアントレプレ



### 九州大学

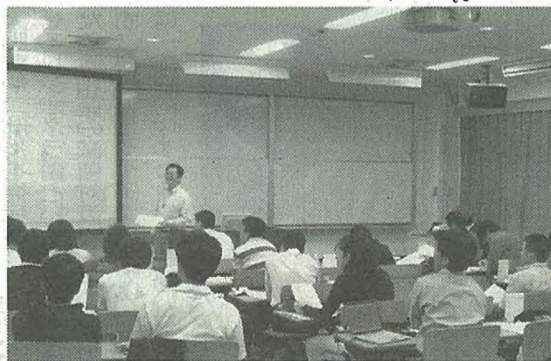
配置していることである。

毎年45人程度の新期生を迎え入れるが、40%弱の技術とビジネスを結びつける特色ある教育プログラムとなっている。販促コンサル、広告、建築内装デザイン、IT、ロボット開発販売、研修事業企画運営、パイオ関連機器製造、アパレル製造直販型小売業（SPA）、水産加工など多岐にわたる。

### 村藤 功

経済学研究院産業マネジメント専攻長

学生はほとんどが社会人



本校の学生はほとんどが社会人で、自らの意思と蓄えで入学をかなえた人たちがおり、企業派遣はごく例外的な存在である。それだけに学生たちの要求レベルは高いが、在学人数約100人の小規模ながらも、同窓会組織が入会している。

ナートたちの職種は広範で、ソフトウェア開発、販促コンサル、広告、建築内装デザイン、IT、ロボット開発販売、研修事業企画運営、パイオ関連機器製造、アパレル製造直販型小売業（SPA）、水産加工など多岐にわたる。

「仕事を学びに生かし、学びが仕事に生きる」をモットーとし、働きながら学びたい社会人を対象とする理想のビジネス・スクールを目指している。